

合併によって町村長、助役、収入役、議会議員、一般職員等を削減することができ、人件費が大幅に減ることになります。砺波市は、平成十七年度から十年間で約一割(九億六千万円)削減できる見込みです。

また、公共的施設の統合整備を検討しており、建設事業費も削減できます。南砺市では平成十七年度から十年間で約一割(九億六千万円)削減できる見込みです。

行財政の効率化

道路や公共施設の整備、環境問題への対応や観光振興などは、これまでの市町村域を越えて広域的な対応が可能になります。例えば、南砺市の建設計画によれば、土地利用構想で四つのゾーンを設け、これまでの町村が持つ個性や文化を守り活かしながら、広域的なまちづくりを進めることとされています。

広域的なまちづくり

民は市内いずれの窓口も利用できることから、利便性も向上します。

市長と議員について

市長

公職選挙法の規定により、新市設置の日から50日以内に選挙が行われます。(新市長が選出されるまで、市長の職務は職務執行者を定めて行われます。)

合併関係市町村の長であった者の中から定められます

議員

平成17年4月30日までは在任特例を適用して現行の砺波市・庄川町の議員が新市の議員になります。

| | | |
|-----|-----------|-----|
| 砺波市 | 現行定数 | 30人 |
| | 平成17年5月以降 | 22人 |

公職選挙法の規定により、新市設置の日から50日以内に選挙が行われます。

| | | |
|-----|------------|-----|
| 南砺市 | 現行定数 | 91人 |
| | 新市設立後初回の選挙 | 34人 |
| | 平成20年以降 | 30人 |

住所の表示はようになるの?

- 砺波市
- 庄川町は「砺波市庄川町」



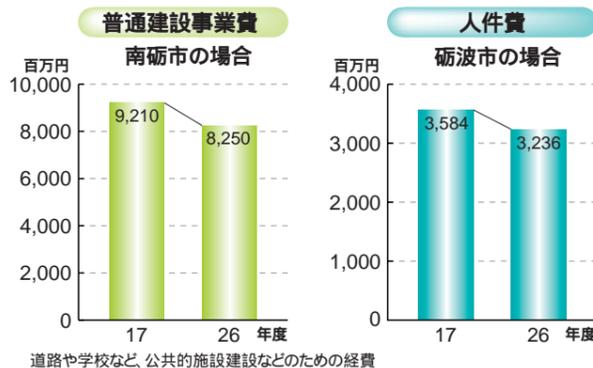
【原則】

- 南砺市
福野町苗島 ▶ 南砺市苗島
- 利賀村は「南砺市利賀村」

【例外】

- 8町村内に同じ字名がある地域は大字の名称が変更
城端町 立野原 ▶ 南砺市立野原東
福光町 立野原 ▶ 南砺市立野原西
- 大字のない区域には新たに大字が付される
福野町 番地 ▶ 南砺市 福野 番地

財政計画で見る経費削減



「市」になることで始まる新たな事務

町村のときには県が扱っていた事務の一部が、市で取り扱われるようになります。十一月一日から次の手続きについては市役所の窓口で申請してください。

- ・生活保護等の事務
- ・障害児福祉手当・特別障害者手当の支給

県では「富山県市町村合併支援方針」を策定し、合併協議会への県費など、県も応援します。

特集2についての問合せ・ご意見は
県庁市町村課
076(444)4578

合併関係市町村数に一億円を乗じた額を合併市町村に交付するもの

員の参画などを通じて砺波市、南砺市の設立を支援してきました。

今後、新市への県職員派遣や新市からの研修生受け入れなどの人事交流を行ったり、市町村合併特例交付金として砺波市に二億円、南砺市に八億円を交付したりするなど、二市のまちづくりを積極的に応援していきます。

新しい市が誕生します

平成16年11月1日に県内の市町村が合併して、2つの新しい市「砺波市」と「南砺市」が誕生します。新市ができるのは、昭和37年に小矢部市ができて以来、42年ぶりのことです。この2つの新しい市が今後どのようなまちづくりをしていくのかを紹介します。

庄川と散居に広がる健康フラワー都市

砺波市

市章



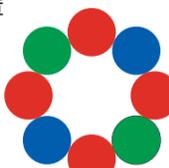
人口 49,064人 (県内5番目)
面積 126.96km² (県内13番目)

新市の事務所は現在の砺波市役所となります。庄川町役場は「庄川支所」として各種申請等の窓口業務を行います。

自然、文化、交流が織りなす創造とやすらぎの南砺市

南砺市

市章

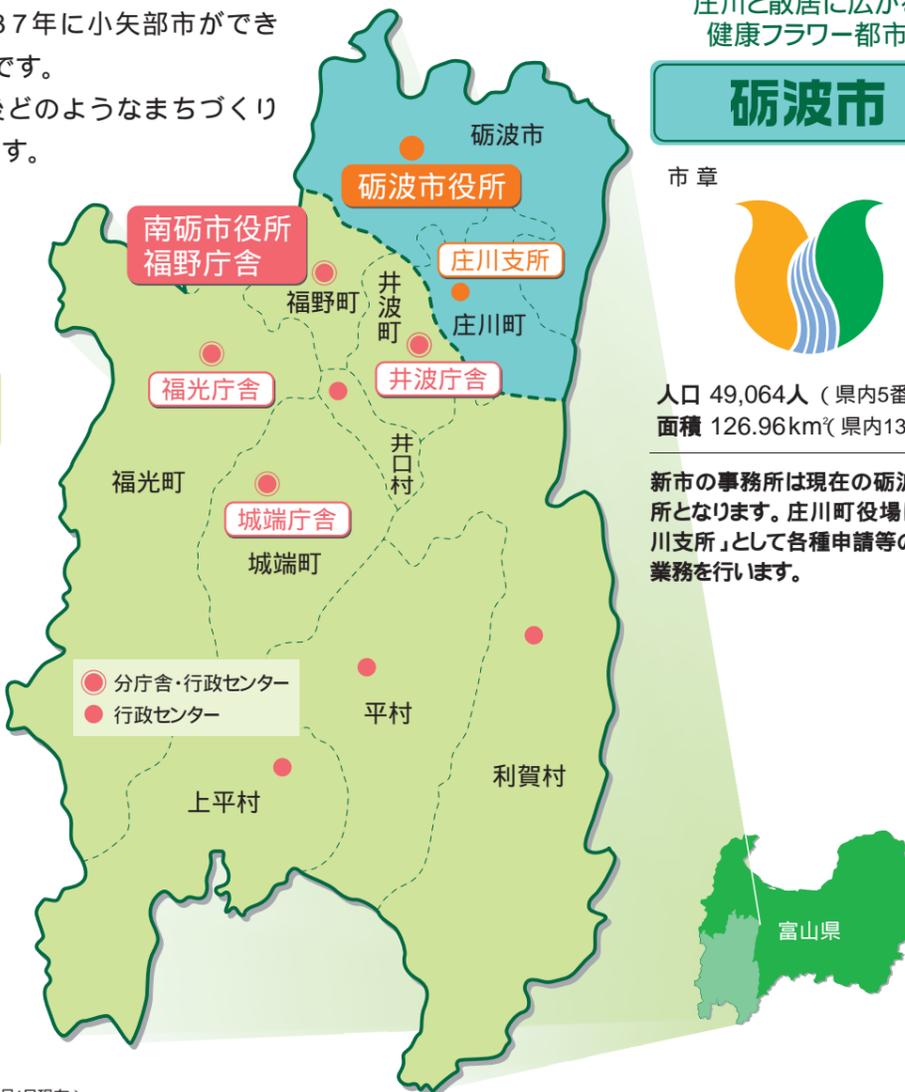


人口 58,771人 (県内3番目)
面積 668.86km² (県内最大)

新市の事務所所在地は、現在の福野町役場となります。なお、現在の各町村役場は、次のような形で業務を分担します。

- 分庁舎 各部署など行政機構を分担
城端、井波、福野、福光
- 行政センター 各種申請等の窓口業務を実施
8町村役場全てに設置

富山県人口移動調査より(平成16年8月1日現在)



住民サービスの向上

各地域の良さを活かしてパワーアップしたまちへ

「砺波市」は現在の砺波市と庄川町の合併により、「南砺市」は現在の城端町、平村、上平村、利賀村、井波町、井口村、福野町、福光町の八町村の合併により誕生します。いずれの市も、平成十四年十二月の任意合併協議会の設置から協議を重ね、今年四月の合併協定調印、六月の県議会での廃置分合議決などを経て十一月の新市誕生に至りました。

新しい市になることで、行政運営は次のように変わります。

小規模な町村では職員が一人でも役もこなすことが多く、専任の職員を十分確保することは困難でした。合併によって現在の市町村の事務事業が一元化されれば、職員の仕事が専門化するほか、新たに専任組織や職員を置くこともできるようになり、高度な行政サービスを効率的に提供できるようになります。

なお、砺波市、南砺市ともに、現在の全市町村の庁舎で各種申請等の窓口業務を行なうこととしており、住